

令和3年第2回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和3年6月10日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応について報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、収束の兆しが見えず、国内では10都道府県において緊急事態宣言が発令され、また、8県においてまん延防止等重点措置が適用されております。

県内におきましては、5月8日に過去最多となる65人の感染者が確認され、5月13日からは県全体の感染段階を最高のステージ5に引き上げられるとともに、県下全域に医療危機事態宣言が発令されました。

現在におきましては、県内の危機的状況は改善されたものの、感染経路不明の割合が高い状態が見受けられ、今もなお市民の皆様には感染防止へのお願いをさせていただいているところでございます。

このような中において、本市では市民皆様の日常生活を取り戻せるよう、南高医師会様のご協力のもと新型コロナワクチンの円滑な接種に向け取り組みを進めており、4月19日から高齢者施設において接種を開始し、5月18日から吾妻

会場・南串山会場の2か所において集団接種を、6月1日からは雲仙市内各医療機関での個別接種を開始いたしました。

これに伴い事前に予約受付を行ったところでありましたが、市民の皆様には多大なるご負担とご迷惑をおかけしたとの報告も受けており、この場をお借りしまして深くお詫び申し上げます。

市といたしましては、本日付けの人事異動により健康づくり課の接種担当チームに職員2名を増員するなど、接種体制の強化を図ったところでございます。

なお、ワクチンにつきましては、今月末までに全高齢者への接種可能な供給が見込まれており、65歳以上の高齢者の優先接種を円滑に進め、7月以降の一般の方への接種に移行できるよう、安全を第一に、接種体制の構築に努めてまいります。

次に、市民の皆様の活躍につきまして、報告させていただきます。

【スポーツの分野における活躍について】

本市の吾妻町と千々石町の小学生で結成されたソフトボールチーム「吾妻アドバンス」が、昨年10月に行われた長崎県予選において準優勝を果たし、3月27日から行われた第14回全日本小学生選抜男子ソフトボール全国大会に出場されました。

吾妻町出身の梅本鈴太郎さんが、バレーボールVリーグ1部の堺ブレイザーズに入団され、今年から活躍されております。

梅本選手は、吾妻中学校在籍時には、全国都道府県対抗中学バレーボール大会の最優秀選手に選ばれ、その後、鎮西学院高等学校、中央大学へ進学され、日本高校選抜や、ユニバーシアード、アジア アンダー23選手権での活躍が認められプロ入りを果たされたものです。

【産業の分野における活躍について】

2021年「春の褒章」の受章者が発表され、本市からは吾妻町の吉田花き農園代表取締役であります吉田良一様が、黄綬褒章を受章されました。

吉田様は、長崎県内有数の菊の大規模生産者として、経営の効率化に向けた先駆的な新技術の導入や計画的な生産拡大に取り組まれ、市場からも高い評価を得られております。

この度ご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

地域防災体制の強化につきましては、3月25日、長崎文化放送株式会社様と「防災パートナーシップに関する協定」を、また、同日、生活協同組合ララコープ様と「災害時における物資提供に関する協定」を締結いたしました。

今回の2つの協定締結により、災害時の情報収集や情報発信の強化につながるとともに、食料や飲料水などの流通備蓄

を活用した協力体制が更に強化されるものと期待しております。

なお、本年は、長雨が予想されており、6月1日、大雨の際に氾濫などが心配される河川や砂防工事予定箇所など、市内4箇所について、担当部署から説明を受けながら点検を実施いたしました。

移住・定住支援につきましては、5月26日、宅島建設株式会社様が会社設立70周年を迎えられたことから、若者や貧困世帯への支援策に活用していただきたいとして700万円のご寄附をいただきました。

いただきました寄附金につきましては、「雲仙市 新・子育て応援パッケージ」などの事業拡充等に向け検討することとしております。

宅島建設株式会社様のご厚意に深く感謝申し上げますとともに、更なるご発展を祈念いたします。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

多様な交流につきましては、3月12日と3月24日、熊本県長洲町より、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて

いる金魚生産者への経営回復を図る「長洲金魚PR応援事業」の一環として、「ながす金魚」と金魚すくいセット並びに水槽セットを寄贈していただきました。

今回の寄贈を踏まえ、小学校や市内公共施設への展示や、イベントへの活用を図っております。

長洲町の関係者皆様に厚く御礼申し上げますとともに、金魚生産者皆様のいち早い経営回復をお祈り申し上げます。

観光の受け入れにつきましては、5月15日、国選定の「重要伝統的建造物群保存地区」であります国見町神代小路地区の古民家を活用した宿泊施設「TOKI TOKI」がオープンいたしました。

この施設は、市が昨年10月に連携協定を締結いたしました株式会社NOTEと地元事業者で設立された「まちづくり会社patina」により運営されており、今後、歴史的資源を活用した地域の活性化を期待しております。

【基本方針3「社会基盤と環境」の分野について】

再生可能エネルギーの活用につきましては、6月1日、雲

仙市環境センターへの木質バイオマスボイラーの設置者として、申請のあった宅島建設株式会社を決定いたしました。

今後の設計作業を踏まえ、令和4年度中に木質バイオマスボイラーの設置を予定しており、稼働後には年間293.1トンの二酸化炭素の排出削減が見込まれております。

【基本方針4「人材と郷土」の分野について】

生涯スポーツにつきましては、5月7日、東京2020オリンピック聖火リレーが雲仙市で実施され、9名のランナーが約1.8kmの距離を走り、また、聖火の到着を祝うミニセレブレーションには、松尾議長をはじめ市議会議員の皆様にご臨席いただき、無事に聖火をつなぐことができました。

当日は、リレー実施に伴う交通規制を実施いたしましたが、市民皆様のご協力に感謝申し上げます。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

市民参加の行政運営につきましては、3月25日、令和4年度を始期とする第2次雲仙市総合計画後期基本計画の策定に向け、将来を担う市内高校の生徒16名に参加いただき、

懇話会を開催いたしました。

今後におきましても、様々なご意見を拝聴し、本市の将来像である「“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち」の実現に向けたまちづくりに取り組んでまいります。